**ＥＳＤＧｓ通信　第167号　「今年の連携を振り返る」　手島利夫**

いつもお世話になっております。

今年も様々な皆様と連携させていただき、年間で70回にも及ぶたくさんの学びの場をいただ

くことができました。改めてお礼申し上げます。

企業や関係機関の皆様と

2022年は、産経新聞社・積水ハウス・大阪ガスさんの「ＳＤＧｓキッズ支援プロジェクト」で

の特別講演とパネルトークから始まりました。この他にも、プラスエム「教育を考える勉強会（企

業対象）や、パナソニックによるＫＷＮオンライン会議、青年会議所東京江戸川委員会ＳＤＧｓ

フォーラム、プラスエム全国作文審査会、こども新聞サミット打ち合わせ会、ユネスコスクール

オンライン研修会での講話、ユネスコスクール定期レビュー会議や審査会など、企業・関係機関

からの学びをいただきました。

　また、子ども向けの作文や映像作成、フォーラム等でのテーマも、持続可能性という視点が一

層明確になってきていることを感じます。

　企業の皆様がその発信力を活かし、講演等の動画をユーチューブで発信して下さっているこ

とも、心強いです。

教育委員会、教育研究会・議員の皆様と

愛知県総合教育センターご依頼のe‐ラーニング教材シリーズの撮影や、墨田区小学校教育会

記念講演会、千代田区教育委員会主催研修会、久喜市教育委員会校長会合同研修会「ＳＤＧｓ実

現のためのＥＳＤ」、世田谷区主催ＳＤＧｓ研修用動画撮影、板橋区教育会主催「ＥＳＤ，ＳＤ

Ｇｓに関する講話」、群馬県教育センター「ＳＤＧｓ実現を目指した人材育成セミナー」、愛知県

安城市教育委員会主催 教務主任・校務主任研修会「ＳＤＧｓから安城の学び合いを創る」、ひた

ちなか市教育委員会主催「ＥＳＤ研修会」など、公的な機関からの研修会や・動画撮影等もあり

ました。

　10月に行ったひたちなか市教育委員会主催のＥＳＤ研修会は、今年で3回目を迎えました。

ご担当者が変わっても研修の価値が引き継がれ、初回では環境教育担当者を対象とした設定だ

ったものが翌年からは教育長様もご参加された教務主任研修会となり、今年度は教育長様から、ご挨拶までいただきました。範囲も管理職まで広げていただけました。

参加者からのお声にも「中学校です。現在の教育活動の中で、ESD教育やSDGsは総合的な学習の時間で取り上げることが多いのですが、ESDカレンダーにより教科横断的に取り上げて学習できることが素晴らしいと感じました。しかしながら、総合的な学習の時間には他にやるべきこともあり、できればESD、SDGsを教育課程にはじめから組み込んでみたいです。他校でこのようなカリキュラムを実践していることろがあれば紹介していただきたいのでよろしくお願いします。」など、積極的なお声が伝わってきました。このご質問には、「ESD大賞」のホームページで各年度の中学校賞受賞校の「実践報告」を開くと面白い実践が紹介されていることをお伝えいたしました。

また、教育委員会のご担当者からは、「手島先生にご助言をいただいたことを踏まえて、各校で教科等横断的に学習を進めたところを『ＥＳＤカレンダー』に記入していただき、完成形でなくても、途中経過でも良いことをお伝えしながら、年度末にご提出していただく予定です」と、「提出するためだけにするＥＳＤカレンダーづくり」をさせない、配慮のある進め方の報告をいただきました。この一言で、実質的な研究が進むことを確信しました。

数年前に語り合った久喜市の市議会議員さんからは、学習指導要領の理念やＥＳＤを踏まえて市の教育振興基本計画改定に尽力し、ようやくまとまったというご報告もいただいております。このお取り組みが学校や教育委員会への、そして子どもたちの学びや未来に対して大きな貢献を果たされたことと、うれしく拝見いたしました。

大学での発信

　大学関係では、茨城大学大学院Ｗeb講座、目白大学キャリアデザイン授業、宇都宮大学・群

馬大学共同教育学部360名への４時間集中講義、創価大学教職大学院主催授業力・教師力アップ

セミナー、金沢学院大学でのＧＴとしての講話、創価大学大学院ＧＴ授業「カリキュラム・マネ

ジメントと校内研究の進め方」、奈良教育大学近畿ＥＳＤコンソーシアム「学ぶ喜び、ＥＳＤ連続公開講座・手島流授業」、九州大学「世界が仕事場（夢や希望に向かって悩み・決断しながら進めた人生を語る）」など、おかげさまで話の幅が広がってきたようにも感じます。

学校関係での学び

学校関係では、八千代市立萱田南小学校、宮城県富谷市立日吉台小学校、八千代市立米本南小学校、東京都立杉並総合高等学校研究発表会講演、沖縄県石垣市立白保小学校研究発表会（動画講話）、東海大学付属大阪仰星高等学校職員研修会、大和市立渋谷中学校校内研修会・授業提供会、江東区立扇橋小学校年間講師、江東区立東雲小学校道徳地区公開講座講話・校内研究会講師、八千代市立村上小学校・村上中学校合同講演会、狛江市立狛江第一小学校校内研修会（ワークショップ）、江東区立東砂小学校校内研修会、葛飾区立青戸中学校基調講話、板橋区立高島第一小学校授業研究会、叡明高等学校校内研修会「探究と学力の相関、主体的な学びの創り方」など、年間を通じた講師としての連続講座や、中学校・高等学校への関係の広がりが進んできました。

報道・出版・発信関係では、

理論社から「学校でやってみた！ＳＤＧｓ実践ナビ」１～３巻を監修出版させていただいたことや、月刊教職研修2022年４月号「気になる教育関連用語解説」でＳＤＧｓとＥＳＤについて書かせていただいたこと、８月に教育新聞円卓にて「教え込みでない学びの姿をつくれ」、１２月に「ＳＤＧｓと学校教育への展望」を、そして「月刊日本教育」１０月号に「基礎から分かるＳＤＧｓ」等々を発信させていただいたことで、多くの方々に向けてＥＳＤ，ＳＤＧｓの重要性をお伝えすることができ、とてもありがたかった。また、自身のホームページ「ＥＳＤ，ＳＤＧｓ推進研究室」や、この「ＥＳＤＧｓ通信」による発信もとともに、大切な取り組みになりました。ご関係の方々や通信等をお読みくださり、ご活用くださった皆様に感謝申し上げます。

新型コロナの影響では、６～７月頃には対面式の講座が開きにくくなっていましたが、９月以

降は直接お話できる機会が増え、また、ふれあいのあるワークショップ形式の講座も作れるよう

になってきました。

　今年も様々な講座にお招きいただき取り組みましたが、その数はコロナ前に戻りつつあるようです。先日にも触れましたように、ＳＤＧｓへの認識が広がり、またコロナ騒動が収束に向かう中、特に中学校や高等学校における総合的な学習の時間、総合的な探究の時間の重要性が見直され、価値ある実践への取り組みも進んできているように感じます。

本年度もご指導いただきありがとうございました。来年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう祈念しております。

**「ＥＳＤ・ＳＤＧｓ推進研究室」　手島利夫**

URL=https://www.esd-tejima.com/

　　 　　　　　　事務所：〒130-0025　東京都墨田区千歳１－５－１０

　　　　　　　　 ☏＝ 　090-9399-0891

　　　 　 Ｍａｉｌ＝contact@esdtejima.com

**＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**

【参考】

ＥＳＤＧｓ通信：手島利夫が名刺交換させていただいた方に配信している不定期なメルマガ

で、文科・環境・外務など関係省庁、大学・研究機関等、教員、教育行政、政治家、企業等々の

方々も含め1９００名様に配信中です。 [contact@esdtejima.com](mailto:contact@esdtejima.com)　にメールでご連絡いただ

ければ、登録・及び削除をいたします。

* メーリングリストの改定を進めておりますが、停止やアドレスの変更等に対応しきれていな

い場合、お手数ですが、お教えいただけますよう、よろしくお願いいたします。